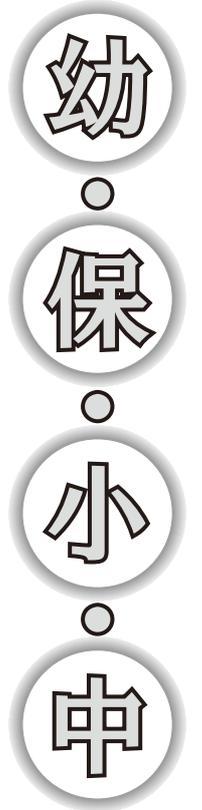


# 阿久比町めざす子ども像

全国へ発信 59

## 一貫教育プロジェクト



幼児教育部会が作成した「阿久比町めざす子ども像」の中から、今回は2歳児の「めざす子ども像」と「大人からの働きかけ」の「排せつ」と「着脱」を紹介します。家庭教育の参考にしてください。

### 乳児期 3歳未満

めざす子ども像 2歳	大人からの働きかけ (家庭または保育園)
<p><b>排せつ</b> 排せつを事前に言葉や動作で知らせ、一人でするようになる。</p> <p>ワンポイントアドバイス!</p> <p>オムツ替えは、コミュニケーションのよい機会です。無言で取り替えるのではなく、言葉掛けやスキンシップを、心掛けましょう!</p> 	<p><b>排せつ</b> オムツ期(0歳~2歳) オムツがぬれていたらすぐに替え、おなかや足をさすりながら、言葉掛けをする。 言葉が出て、コミュニケーションが取れるようになったら、オマルやトイレに誘って、うまくいったときは、しっかりほめるようにする。</p>
<p>ワンポイントアドバイス!</p> <p>尿意・便意を感じ大人に報告し、トイレに行ってしまうという行動は、自分の身体におこる感覚が分かり、それを大人に言葉で伝えてはじめてできるようになります。子どもとの信頼関係の中で、大人がたくさん言葉掛けやしぐさを見せてあげると、自分から伝えるようになり、自立します。</p> 	<p><b>トレーニング(2歳~3歳)</b> 排せつ間隔を把握し、子どもに無理のないようにトイレに誘う。 尿意・便意を知らせたり、パンツに出たことを自分から知らせたりしたときは、しっかりほめるようにする。 失敗したときも、やさしく取り替え気持ちよさを言葉で伝える。 自分でトイレに行けるようになったら、ペーパーでふくことを知らせたり、トイレの使い方(水の流し方・手の洗い方)スポンの上げ下げなども、大人が手を添えたり、言葉を掛けたりして知らせていく。</p>
<p><b>着脱</b> 簡単な衣服を脱ぐことができるようになり、手伝ってもらいながら、ひとりで着るようになる。</p>  <p>ワンポイントアドバイス!</p>	<p><b>着脱</b> 自分でしようとする気持ちを大切に、励ましたり、うまくできたりしたときはほめる。また、やりにくい部分はさりげなく援助する。</p> <p>前後や裏表を知らせながら、着やすいように並べて置く。</p>
<p><b>楽しい着脱のコツ</b> くり返しやって見せる 出来ないところだけ手伝う 急がせない しからない 出来たところをほめる</p> 	



子育て支援センターあぐびっぴで遊ぶ子どもたち